

第22回大会

平成13年8月7日～8日

富士カントリー明智ゴルフ倶楽部明智ゴルフ場

／男子38校、女子16校



男子は、瀬戸内（広島）が16度目の出場で初優勝を飾った。女子は、東海大二（熊本）が2位に11打差の大差をつけ3連覇を達成した。

沖学園（福岡）の追撃もエース・石川裕貴（3年）が振り切った。先にスタートした3人が伸び悩み中、重圧のかかるアンカー役をつとめ今大会のベストスコア69で回った。1番ロングはグリーン右からチップインバーディー。12番では7メートルのパットをねじ込んだ。14番ロングは第2打を8番アイアンで刻み、第3打をピン横にピタリ寄せた。「慎重にゆっくりやれました」。昨年の個人戦でハーフ29を記録するなど、切れの良い攻撃ゴルフが持ち味だ。だが、「個人戦とは違い団体戦は難しい」。ライバルやチームメートのスコアによって駆け引きがある。攻守のあるスコアメイクを見せた。

瀬戸内は、中国地区では名門だが、全国大会は初優勝だ。過去最高位は91年の2位、今やスタープロの田中秀道が2年時には3位、3年時は5位止まりだった。今季から広島県内3コースの協力を得て、週に3回は放課後にラウンドしている。選手は自分のバッグを担ぎ、暗くなる午後8時までかけて18ホールを回る。「やはり練習より実戦が効果的です」と杵築監督は目を潤ませた。石川の影響でチームワークも向上した。石川を慕って同じ鳥取県出身の草瀬大志（1年）が新加入した。「この2人が安定しているから、自分たちのゴルフをすれば優勝できると思っていた」と主将の埤一臣（3年）。山下真司（2年）は、「団体戦を意識せずにプレーできた」、草瀬は、「気持ちを切らさずに」と、それぞれが初優勝へのプレッシャーに打ち勝った。後ろにエースが控える安心感が自信につながった。

女子は東海大二が危なげなく3連覇を達成した。初日を終え5打リードが前半9ホールを終え1打差に縮まった。そこから底力をみせた。アウト41だった青山加織（1年）はショットの不調を小技でしのぎ、インは全ホールパーの36。井芹美保子（1年）はアウト40も、16、17番の連続バーディーで34と巻き返した。終わってみれば2位に11打差をつけ圧勝した。「強さの秘密？近くにライバルがいることです」と青山は言う。お互いにしのぎを削りながら連覇を支えた古閑美保（20）、紫垣綾花（19）らが卒業して選手層が不安視された。6月に井芹が日本女子アマに優勝し、新チームの「核」が生まれた。同時に同期の青山の闘志に火がついた。「相当刺激を受けたんじゃないでしょうか」と金栗顧問が明かすように練習量が倍増。「朝と夜、納得するまで500球くらい打つようになりました」と青山自身が胸をはる。「5連覇はしたい」と話す青山。世代交代が順調に進んだ東海大二時代が続きそうだ。



◇男子成績

①瀬戸内（広島）437（221・216）

石川 裕貴③	142	(73・69)
草瀬 大志①	145	(72・73)
山下 真司②	154	(76・78)
埤 一臣③	161	(87・74)

②沖学園（福岡）439（226・213）

諸藤 将次①	144	(73・71)
照屋 貴之①	146	(77・69)
田村 三成②	149	(76・73)
岩井 亮磨①	—	(—・78)
別府 大輝②	—	(79・—)

③大阪桐蔭（大阪）440（221・219）

坂本 庄司③	146	(75・71)
森本 雄也③	146	(72・74)
原田 大介③	158	(80・78)
森田 愁平③	—	(—・74)
石川 元樹①	—	(74・—)

④柳 川(福岡)	442(222・220)	②明德義塾(高知)	478(240・238)
⑤千葉学芸(千葉)	442(221・221)	③美濃加茂(岐阜)	479(248・231)
⑥クラーク記念(兵庫)	446(229・217)	④日体荏原(東京)	481(246・235)
⑦東北(宮城)	451(231・220)	⑤東海大四(北海道)	482(249・233)
⑧埼玉栄(埼玉)	455(231・224)	⑥埼玉平成(埼玉)	484(246・238)
⑨仙台育英(宮城)	456(232・224)	⑦大宮開成(埼玉)	485(246・239)
⑩東京学館浦安(千葉)	457(230・227)	⑧横浜商大高(神奈川)	487(244・243)
⑪佐野日大(栃木)	457(230・227)	⑨滝川二(兵庫)	489(248・241)
⑫香川西(香川)	458(233・225)	⑩厚木北(神奈川)	490(251・239)
⑬駿台甲府(山梨)	458(228・230)	⑪近大付(大阪)	490(250・240)
⑭中京(岐阜)	460(233・227)	⑫日大一(東京)	490(248・242)
⑮東海大二(熊本)	463(242・221)	⑬作新学院(栃木)	491(242・249)
⑯P.L.学園(大阪)	464(239・225)	⑭千葉日大(千葉)	496(255・241)
⑰春日丘(愛知)	471(240・231)	⑮札幌光星(北海道)	499(251・248)
⑱水城(茨城)	472(239・233)	⑯札幌商(北海道)	505(261・244)
⑳愛工大名電(愛知)	472(243・229)	㉑星陵(静岡)	515(257・258)
㉒広陵(広島)	473(239・234)	㉓明大中野(東京)	523(260・263)
㉔長崎日大(長崎)	474(243・231)		

◇女子成績

①東海大二（熊本）449（226・223）

井芹美保子①	150	(76・74)
今田 夢美②	151	(79・72)
青山 加織①	152	(75・77)
田中美弥子①	153	(75・78)

②東北（宮城）460（240・220）

宮里 藍①	148	(76・72)
和田委世子①	154	(79・75)
菰田 依未②	159	(86・73)
井坂 絢③	—	(85・—)
鈴木 舞子③	—	(—・80)

③明德義塾（高知）460（231・229）

横峯 さくら①	146	(74・72)
池田 亜規②	157	(79・78)
篠原由美子③	158	(78・80)
平田季実子②	—	(81・—)
中村美沙子①	—	(—・79)

④滝川二(兵庫)	461(234・227)	⑪佐野日大(栃木)	493(250・243)
⑤厚木北(神奈川)	463(235・228)	⑫岡山山陽(岡山)	500(252・248)
⑥埼玉栄(埼玉)	464(235・229)	⑬愛知啓成(愛知)	509(259・250)
⑦北海道尚志学園(北海道)	470(235・235)	⑭清林館(愛知)	514(266・248)
⑧沖学園(福岡)	471(236・235)	⑮仙台育英(宮城)	520(258・262)
⑨立正(東京)	474(239・235)	⑯近大付(大阪)	520(264・256)
⑩堀越(東京)	485(243・242)		

※名前の後の丸数字は学年。各学校各日上位3人の合計スコア。タイスコアの場合は、2日目の4人の合計スコアで順位を決定。さらに同数の場合は、初日の4人の合計スコアで順位を決定。